



目次

- 調査の概要
- 本レポートについて
- 機能と特徴
- 実装品質
- 知覚品質
- ADAS
- インフォテインメント
- ナビ
- 音声認識
- コネクテッド機能
- 利便性
- サポート分野

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号: 635

本レポートシリーズでは、インフォテインメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価する。

2022年度の評価対象車種/システム: Lucid Air, Rivian R1T, Renault Megane E-Tech, Xpeng P5, Hummer EV, Lexus NX (本書)

レポート番号: #635(22f)



UXベンチマーク
評価シリーズ

UXベンチマーク評価 Lexus NX

車両への採用技術が増加する中、搭載システムをユーザーがどのように評価しているかを理解しておくことが非常に重要です。車内UX（ユーザーエクスペリエンス）はブランドの差別化において重要な要素であるだけでなく、長期的な顧客ロイヤルティの確立にも影響を及ぼします。

今回、SBD AutomotiveのUX（ユーザーエクスペリエンス）専門チームでは、Lexus NXのHMI UX評価を実施しました。Lexus NXは、より大型で直感的なフルタッチスクリーンシステムへと移行したことで、競合と並ぶ最新のキャビンを実現しています。最大のプラス面の1つは、以前のLexusシステムと比較して全体的にユーザーエクスペリエンスが向上している点です。ナビシステムは使用が快適で、以前の車種よりも直感的です。タッチパッドをセンターディスプレイから取り除き、専用のタッチ入力へシフトしたことで、ユーザーインタラクションが向上し、使いやすいシステムとなっています。ただし、複数の領域において実装が不適切であることや、システムのバグ、音声認識の安定性やコネクテッド機能の欠如が見られることなどから、今回のSBDの評価においては高スコア獲得に至っていません。

対象市場

- | | | |
|----|-------|-----|
| 欧州 | 北米 | 中国 |
| 日本 | グローバル | その他 |

レポート発行頻度

- | | | | | |
|------|------|-------|------|-------|
| | | | | |
| 毎年更新 | 半年更新 | 四半期更新 | 毎月更新 | 年間6車種 |

レポート形態

- | | | | |
|-----|------------|-------|--------|
| | | | |
| PDF | PowerPoint | Excel | Online |

ページ数

- | |
|-----|
| |
| 130 |

SBD UXベンチマーク評価シリーズ

本評価シリーズでは、以下の領域のスコア付けと分析を行っています

> 機能と特徴

ユーザーが期待している機能、必要としている機能、問題を解決する機能をソリューションが提供しているか（Wowファクターを提供しているか）評価する。

> ユーザビリティ

提供される機能を簡単に習得・使用できるか評価する。人間工学、視認性、ユーザビリティの特性の各領域とシステムにおける各種機能の実装状況を考察する。

> 信頼性／安定性

反復的なユーザビリティと、ユーザーが毎回同じような使用感（プラスのエクスペリエンス）を得られるかについて評価する。

> 知覚品質

HMIコンポーネントの品質がどのように知覚され、それが全体的なユーザーエクスペリエンスにどのように影響するかを評価する。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



Lexus NX
UXベンチマーク評価

発行年月：2023年3月
レポート番号：635-22(22f)

本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「UXベンチマーク評価 -Lexus NX」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

